

第84回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

- I. 日 時：2019年7月10日（水） 14時30分～16時30分
- II. 場 所：東京大学 工学部 三号館 424 会議室
- III. 出席者：青山（東大）、鈴木（MHPS）、倉富（JERA）、幅野（IHI）、飯田（東電 HD）、
長谷川（発電技検）、飯島（日溶協）、岩井（東芝 ESS）
欠 席：高内（神戸製鋼）、水谷（東工大）、逢澤（MHPS）
代理出席：なし
オブザーバー：高橋（JERA：新任候補）、片山（関西電力：新任候補）、
中村（JERA：新任候補）、稲垣（北陸電力：新任候補）
事務局：花井

IV. 配付資料

- 84-1 第83回溶接分科会議事録（案）
- 84-2 溶接分科会委員名簿
- 84-3 第88回火力専門委員会報告（案）
- 84-4 第90回発電設備規格委員会報告（案）
- 84-5 規格委員会書面投票 No.436(第Ⅵ章 非破壊検査の規格委員会書面投票 No.399
の意見対応による修正案)の投票状況中間報告
- 84-6 用語集（映写のみ）
- 84-7 規格委員会書面投票 No.422（第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量）の投票意見と対応
案

V. 議事

1. 前回議事録確認

【資料84-1】

前回議事録（案）について確認を行い、以下の誤記を修正することで議事録(案)が承認された。

- (1)委員出欠の項の飯田委員の所属 東電 HP→東電 HD
- (2)V.議事3. 報告事項(3)火専書面投票 No.81 の“結果報告告”との告の重複を取る。
- (3)V.議事4. 審議事項(3)規格委員会書面投票 No.422 の中で、
「火力専門会議」を「火力専門委員会」に修正

2. 分科会委員・役員の承認

【資料84-2】

小林委員、虎前委員、堀委員の退任が報告された。また、倉富委員（幹事）が8月31日で退任予定であることが報告された。新任委員候補として中村氏（JERA）、稲垣氏（北陸電力）、片山氏（関西電力）、高橋氏（JERA）を、また、再任委員候補として逢澤委員を出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

また、倉富委員の退任後の幹事には高橋氏（JERA）を同委員会へ推薦することが承認された。

3. 報告事項

(1) 火力専門委員会報告

【資料 84-3】

6月3日開催の第88回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認

○第83回溶接分科会(4/15)の報告

- ・火力専門委員会書面投票 No.81『非破壊検査の規格委員会書面投票No. 399の意見対応による修正案』の意見対応案(完了)と修正案の確認が行われた。
- ・規格委員会書面投票 No.422(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量の改訂案)の意見対応の前回からの変更確認。

○審議結果報告

- ・規格委員会書面投票 No.410(第Ⅱ章 材料改訂提案)の意見対応に関して、意見 No.27について了解を頂き、対応が完了したことが報告された。修正案の説明があり、編集上の修正または軽微な技術的な修正として承認を得るのに、No.14、No.22、No.27の3つの意見対応による修正が軽微かどうかが論点であることが示された。対象が絞られていることから期限を短くして再度の書面投票を行うとの提案があり、出席委員全員の賛成により、投票が行われることになった。
- ・規格委員会書面投票 No.427(第Ⅲ章 ボイラ)の意見対応による修正案の説明があった。委員・会后、意見者に意見対応案を送付する。
- ・火力専門委員会書面投票 No.81(第Ⅵ章 非破壊検査の規格委員会書面投票 No.399の意見対応による修正案について提案があり、本修正案が編集上の修正または軽微な技術的な修正であることが出席委員全員の賛成により承認された。第90回規格委員会(6/19)に第Ⅵ章 非破壊検査改訂修正案の再度の書面投票提案を行う。
- ・規格委員会書面投票 No.422(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量)の意見対応に関しては、継続中であるとの説明があった。
- ・電事連等で組織された「発電ボイラー用ステンレス鋼管クリープデータ評価検討会」の検討結果として、火 SUS304J1HTB 等の許容応力試算結果が、火技解釈よりも低かったとの情報提供が報告され、「許容応力値の見直し」及び「既設設備で使用されている場合の寿命評価式」の検討を、材料専門委員会に依頼することが承認された。

(2) 規格委員会報告

【資料 84-4】

6月19日開催の第90回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会(6/3 開催)報告

○材料専門委員会(6/6 開催)報告

火力から材料規格値検討依頼の①alloy263→規格値策定済み。溶体化熱処理温度の下限温度を下げたいとの依頼者意向により、追加実験データ取得検討中。②alloy141→次回材専で分科会案提示予定。今回、③発電ボイラー用 SUS 鋼管許容応力等見直し依頼受付を承認との報告があった。

○規格作成時の誤記チェックリスト活用報告(原専)

規格委員会にて策定中の「規格策定の手引き」への添付を想定。運用主体は分科会。専門委員会審査前と出版前に使用。但し、審査用ではなく内部エビデンス。CS キャビネット5年保管。原専は内規としてチェックリスト単体の運用書面投票済みのため運用

に入る。

○火力用発電設備規格に関する審議

- ・発電ボイラ用 SUS 鋼管の規格値等の検討依頼を行うにあたり、外部より追加のデータ提供を受けるために「提供データ取扱要領」に従って手続きを行うことが全会一致で承認された。
- ・『第Ⅵ章 非破壊検査』改定案の書面投票意見対応による修正案について、規格委員会書面投票(再)を行うことが全会一致で承認された。

(3) 規格委員会書面投票 No.436(第Ⅵ章 非破壊検査の規格委員会書面投票 No.399

の意見対応による修正案)の投票状況中間報告 【資料 84-5】

題記投票(6月24日～7月23日)に関し、期間の半分以上が過ぎたところ。7月10日12時時点での投票状況の報告があった。賛成9票、反対0票、保留0票、未投票17票であり、意見は1つ『意見対応案の内容が全て適切に反映されている』との趣旨。

4. 審議事項

(1)用語集の確認

【資料 84-6】

新たな追記・変更箇所はなし。

(2) 規格委員会書面投票 No.422(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量)の意見対応案の

内容確認及び今後の進め方 【資料84-7】

規格委員会書面投票No.422(第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量)の意見対応案について鈴木副主査から、6月13日に意見対応案が了解され、対応が完了したことが報告された。意見対応案(資料84-7)における黄色地のハッチング部分が、改定案の修正が必要となる部分である。資料84-7は白黒印刷のため明確ではない。別途鈴木副主査から各委員に同資料の電子データの送付を行う※¹。

『第Ⅶ章 溶接施工法・溶接技量』に関しては、書面投票No.422の意見対応案による修正点が多く、特にNo.12、No.16、No.20の3つの意見対応が軽微な技術的修正とは言えない。そのため、今後『第Ⅵ章 非破壊検査』と同様に、火力専門委員会、規格委員会と順次再度の書面投票を行う進め方とする。

具体的には、No.422の意見対応案による修正案の承認に関し、9月2日の火力専門委員会において、火力専門委員会書面投票実施提案を行う。承認後、30日の書面投票を実施する。(技術的修正を伴う意見が無ければ)12月に開催が予想される火力専門委員会(日程未定)において、意見なしの報告、あるいは『編集上の修正または軽微な技術的な修正』として修正が適正であることを、挙手により承認を得る。その後、(12月17日の)規格委員会において再度の修正案の承認について規格委員会書面投票実施の提案を行う。

今回の溶接分科会開催は火専投票終了直後の10月7日とし、火専投票で投票者の意見があれば、ここで対応案の審議を行う。

直近の作業としては、火力専門委員会での書面投票用の資料として、各担当委員が8月9日(金)までに、規格委員会意見対応案を反映して新旧対比表を見直し、CSキャビネット

の指定されたフォルダ※2に保存する。今回、規格委員会書面投票意見対応を反映した修正箇所は**青字・下線**とする。該当する意見No.を吹き出し等で青字にて記載する。その後、内容の審査を行い、26日までに完成版として事務局に渡す。

(3) 『第Ⅵ章 非破壊検査』

【資料 無し】

規格委員会書面投票 No.436 「発電用火力設備規格 第Ⅵ章 非破壊検査の規格委員会書面投票 No.399の意見対応による修正案」このまま意見なしで投票が終了した場合、出版用に体裁を整えることになる。そして、他章の完成後に公衆審査にかけることになる。

詳細規定の他に基本規定に関しても改定準備を進めなければならないために、次回分科会までに鈴木副主査が現行の基本規定を確認し、分科会としての作業内容、分量等を確認する。

なお、前回の基本規定作成作業を(分科会)3役で行ったのは、時間的制約のためだったとの情報提供あり。

Ⅵ. その他

7月9日付けで、経済産業省産業保安グループ電力安全課から【「発電用火力設備に関する技術基準の解釈及び発電用火力設備における高クロム鋼に対する寿命評価式について」の一部改正に関して】のお知らせが掲載されている。なお、【電気事業法第52条に基づく火力設備に対する溶接事業者検査ガイドの一部改正について】は7月1日付お知らせで掲載。

経済産業省ホームページ▶政策について▶政策一覧▶安全安心▶産業保安▶電力の安全▶新着情報

Ⅶ. 次回開催予定

- ・日時：2019年10月7日（月） 13時30分～17時
- ・場所：東京大学工学部（本郷）工学部3号館4階
システム創成学専攻 会議室 424会議室

以 上

※1※2：7月11日に鈴木副主査よりEメールにて送付済み。同EメールにてCSキャビネットの『溶接分科会/05 201X 年度版提案資料/第Ⅶ章/05_規格委員会書面投票意見対応による修正案』フォルダ指定あり。

なお、7月11日に新任委員候補の4名には、新旧対比表の修正作業を行う必要があることから、委員専用ページを委員承認前に利用できるようID及び仮パスワードを発効、連絡済